

情報通信審議会 郵政政策部会（第22回）議事録

1 日時

平成30年7月10日（火） 17時35分～18時00分

2 場所

総務省 第1特別会議室（8階）

3 出席者

（1）委員（敬称略）

米山 高生（部会長）、東條 吉純（部会長代理）、泉本 小夜子、  
藤沢 久美（以上4名）

（2）総務省

野田 聖子（総務大臣）  
鈴木 茂樹（総務審議官）、武田 博之（官房総括審議官）

（情報流通行政局）

巻口 英司（郵政行政部長）、北林 大昌（企画課長）、野水 学（郵便課長）、  
牛山 智弘（貯金保険課長）、中山 裕司（国際企画室長）

（自治行政局）

植田 昌也（行政経営支援室長）、門前 浩司（過疎対策室長）

（4）事務局

鈴木 信也（情報流通行政局総務課長）

4 議題

（1）答申事項

「少子高齢化、人口減少社会等における郵便局の役割と利用者目線に立った郵便局の利便性向上策」について

【平成30年2月14日付け諮問第1227号】

○米山部会長　　本日は、カメラ撮りの申し出がありましたので、会議冒頭の部分を撮影いたします。ご出席の皆様におかれましては、あらかじめご了承ください。

## 開　　会

○米山部会長　　ただいまから、情報通信審議会第22回郵政政策部会を開催いたします。本日は、委員5名中4名が出席されておりますので、定足数を満たしております。野田総務大臣は、後ほどご出席いただく予定となっております。

## 議　　題

### 答申事項

「少子高齢化、人口減少社会等における郵便局の役割と利用者目線に立った郵便局の利便性向上策」について

【平成30年2月14日付け諮問第1227号】

○米山部会長　　それでは、お手元の議事次第にしたがいまして、議事を進めてまいります。本日の議題は、答申事項1件でございます。それでは、諮問第1227号「少子高齢化、人口減少社会等における郵便局の役割と利用者目線に立った郵便局の利便性向上策」について審議いたします。

当部会において了承されました資料22-1及び22-2を答申（案）として、6月12日から6月25日までの間、意見招請に付しました。期間中に寄せられた意見と、それらに対する考え方及びそれらを反映させた答申（案）について、事務局からご説明をお願いいたします。

○北林企画課長　　事務局でございます。

お手元の画面上には、資料22-1の意見募集を行いました審議会の答申（案）の概要と、22-2では審議会の答申（案）が画面上で見られるようになってございますが、先ほどもありましたとおり、6月12日からパブリックコメントをしましたので、その結果概要について私の方からご説明させていただきます。資料は、22-3になりますので、そちらをご覧くださいと存じますので、よろしくをお願いいたします。

表紙の次、2枚目のスライドになってございますが、意見募集期間は6月12日から2週間の期間でございました。意見提出者は40者でございます。個人が半分ぐらいいらっしゃると思いますが、ご覧のとおりでございます。後ほど、主立った意見をご説明させていただきますが、1人の方から複数のご意見が出ているものも各々数えて、項番では68件とさせていただいているところでございます。

それでは、3番目のスライドを見ていただきますと、目次として答申（案）全体に対する意見、第4章（郵便局に期待される役割及び郵便局の利便性向上策の方向性）関係で、第5章（郵便局の利便性向上策を実現するために必要と考えられる方策）関係とその他の意見という形に分けてございます。全体としては、第4章に関するご意見が多かったわけでございますが、先ほど言いましたトータルの40者の68件のご意見の全体としては、大半が賛成、あるいはもっとやるべきである等々の前向きなご意見をいただいたということでございます。

それでは、4ページのスライドをご覧ください。項番でいうと1番、答申の全体に対する意見の代表例ということでございます。下から2つ目のパラグラフにありますとおり、地域によってはコミュニティーの場がなくなり、住民生活をサポートする重要な拠点と郵便局はなり得ると。次のパラグラフにありますとおり、地域の郵便局の強みを生かし、地域住民から期待されるその役割が早期に実現できますよう期待しますという山形県の新庄市さんのご意見。こういったご意見が幾つかございまして、賛成のご意見として承りますという形に整理させていただいております。

続きまして、個別のご意見をご紹介させていただければと存じます。ページでいうと12ページになります。行政サービスの補完関係ということで、10番以降に、地方自治体の窓口事務の受託を中心としたご意見が幾つか出てございます。10番で、福岡県の小竹町というところでございますが、最後のパラグラフにございますとおり、郵便局への事務委託は自治体、郵便局双方にとって有効な方策であり、積極的に進めていきたいというようなご意見。

それから、11番には、福岡県の嘉麻市というところでございますが、こちらは既に幾つか住民票の交付事務を委託しているということで、引き続き有効な施策として推進してまいりたいということでございますから、意見に対する考え方の案にございますとおり、賛成のご意見ということと、答申（案）では、国における取組として、これまで以上に自治体の窓口事務を郵便局に委託することを可能とする環境整備を行っていくこ

とを示しているところ等々の考え方を示してございます。

続きまして、20ページでございます。暮らしの安心・安全サポート関係。こちらは、郵便車両とか郵便ポスト等に、カメラ、センサーで高齢者とか児童とかの見守りというような例などを示しながら、そういう役割を示したところでございますが、21番でございますとおり、ドライブレコーダーの映像の活用であるとか、QRコードの話とか、警告音が作動するシステムなど、かなり具体的な話をご提案されてございまして、これは方向性としては賛成のご意見で、具体的なところについては、今後の郵便局の利便性の向上策を検討する際の参考となるものという形にさせていただいています。

一方、ページでいうと22ページでございますが、少し慎重なご意見が26番と27番で、信書の秘密であるとか、プライバシーの侵害の可能性というご指摘を賜りましたので、こちらの方は答申の中でも記載をいただいておりますが、郵便法令や個人情報保護法令等を遵守する必要があるとしているということも明記させていただいたところでございます。

それから、ページでいうと30ページでございます。40番のご意見で、郵便局の窓口開設時間の柔軟化の話をご意見として賜っています。また、都市部では外国の方も多いので、そういった窓口に対応可能な環境を構築するとか、語学力のある職員云々というご意見もいただいております、それ以降にも外国人対応などのご意見を賜りました。答申（案）においても、日本郵便の取組として窓口開設時間の柔軟化であるとか、在留外国人向けの対応等々が期待されると書いてございますので、そういったことを考え方として示させていただいたところでございます。

それから、ページでいきますと40ページになります。こちらが実現方策に関するところでございます。こちらはちょっと長い意見でございますが、郵便局の利便性の実現方策の中に書いてある基本的な考え方のところについて、少しご意見をいただいております。中段ですが、「ユニバーサルサービスの提供に支障がなく持続可能なものとしてコスト負担のあり方が重要」との基本的な考え方に立って検討いただいたことは重要なポイントというような賛成のご意見であるとか、次のページに渡っているわけなんです、利便性の向上策については全国一律で実施するのではなくて、市町村によって異なる状況があるので、そういった検討が必要だと書かれているわけですが、答申の中にも、郵便局の事情とか地域の事情、ニーズに応じてやっていく話ですということが書いてありますので、そのようなことが答申（案）の中にも記載されているということをご考慮と

して示させていただいたところでございます。

最後に、ページでいうと45ページです。その他意見のところでございますが、最初の、項番でいうと64番のところ、少し漢字と平仮名が混ざっているとか、略語の問題であるとか、西暦とか年号についてご指摘を賜りました。こちらについては、ご指摘を踏まえて幾つか修正をさせていただいたということでございます。資料22-3の考え方、また若干、てにをはを含めて修正したものにつきまして、資料22-4の答申書（案）のとおり取りまとめるかどうかというふうに考えてございますので、どうかよろしくお願いいたします。

○米山部会長　ありがとうございます。部会としては、今の事務局の説明どおりまとめていきたいと思っておりますけれども、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○米山部会長　ありがとうございます。それでは、案のとおり答申することといたします。続きまして、答申書をお渡ししたいと思います。野田総務大臣がお見えになりますので、しばらくお待ちください。

（野田総務大臣入室）

○鈴木総務課長　では、これより答申書の手交を行います。

なお、答申書手交時の写真を撮影いたしますので、お渡しの際には米山部会長及び野田総務大臣におかれましては、しばらく、答申書をお渡しいただいた姿勢のままでお願い申し上げます。

それでは、よろしくお願いいたします。

○米山部会長　それでは、本日取りまとめました答申書をお渡しすることにさせていただきます。

（答申書手交）

○野田総務大臣　本当にありがとうございました。大変ご苦勞をかけたけれども、素晴らしいものをつくっていただきまして感謝します。ありがとうございました。お世話になりました。

○鈴木総務課長　ありがとうございました。

○米山部会長　それでは、ただいまの答申に対し野田総務大臣よりご発言がございます。よろしくお願いいたします。

○野田総務大臣　改めまして、心から御礼申し上げたいと思います。本当に、いろいろ

ありがとうございました。また、部会長をはじめ皆様方には、日頃から郵政行政について非常にご理解をいただきまして、今日までいろいろとご指導いただいていることを感謝申し上げます。

今、答申いただきました「少子高齢化、人口減少社会等における郵便局の役割と利用者目線に立った郵便局の利便性向上策」につきましては、米山部会長をはじめ委員の諸先生方には活発なご議論とご審議をいただきました。本日お取りまとめをいただきまして、心から感謝を申し上げます。

人口減少、少子化、高齢化が進展すると、自治体の職員の減少、金融機関の窓口の減少など、地方での住民サービスの維持が難しくなり、郵便局こそが最後の砦になるのではないかと考えています。

実は、「2040」というのを、今、この総務省の中でも検討させていただいて、ここはどちらかというと地方自治にずっと取り組んでいる仲間たちが、2040年の高齢者の数がマックスになるときの、果たしてそのとき地方はちゃんとやっつけられるかどうかというその先を試算して、逆算しながら、今できること、来年やれることというのに今取り組もうとしているのですけれども、そういう中で、大臣になって若干疑問を感じていたのは、地方に行けば行くほど、その魅力が増す郵便局の存在と、だんだん力をなくしていく地方の取組とが、この役所の中ではうまく噛み合っていないなという不思議な気持ちを実感していました。

率直に聞いたところ、実は、地方自治について取り組んでいる人たちは、これから過疎なんかで大変になっていくという問題意識の中で、そこにやはり郵便局が何らかの役割を果たせるのではないかと議論は、実はこれまでされてこなかったという話がありました。そこで、どうか今回、この部会においては、それぞれの担当が良い形で合体して、それでコンセンサスをとっていけないかという、ひとつの総務省として初めての試みでございました。

地方の担当者ですけれども、郵便局を担当している者だけではなくて、やはり地方の厳しい実情を知っている人もちゃんといてくれて初めて、郵便局の、とりわけ地方における利便性というのが発揮できるのではないかとということで、大変良いことをやっただけなのではないかと思えます。

今、郵便局のユニバーサルサービスというのは、郵便、貯金、保険というふうに言われているわけですが、2040年、人口減少によって、私は見えざる有事と呼ん

でいるのですけれども、大変な苦勞、どんどん地方公務員が減っていく中で、地方の自立をサポートするために、郵便局はまた新たな顔を作っていかなければならないと思っています。日本郵便と地方自治体をはじめとする他のプレーヤーとの連携、協働というのが、当然、今から求められることではなかろうかと認識をしているわけです。

今回の取りまとめでは、地域を偏りなく網羅する郵便局のネットワークや、日々、各世帯まで郵便物を配達し、職員と住民の触れ合いが生まれている配達ネットワークといった郵便局のアナログな強みを生かして、郵便局における利便性向上のためのさまざまな取組が盛られております。また、これらの取組を実現するために、日本郵便、国、地方自治体に求められる取組を具体的かつ明確にさせていただきました。これは大変うれしいことです。今後は頂戴した答申を踏まえ、日本郵便にはしっかりと取り組んでいただきたいと考えていますし、私たち総務省も一体となって関係各方面と調整を図りながら、必要な取組を行ってまいりたいと思います。

最後に、本当に無理難題を申し上げたかもしれませんが、今までは人口増加国家でございました。でも、もう2008年にピークを迎えて、今、国調でも人口減少国家とちゃんと定めている中で、これまでどおりのことでは事は進まないし、もう既にそのトップランナーとして地方が苦勞している中、今日、こうやって答申をいただいたことで、多くの地方自治体が皆様方の答申を見て参考にさせていただいて、どんどん活用していただけるような、そういう関係ができれば良いなと思っています。本当にありがとうございました。

○米山部会長 総務大臣、ありがとうございました。

○野田総務大臣 ありがとうございました。

○米山部会長 野田総務大臣は、ご公務のため、ここで退席されます。

○野田総務大臣 では、本当にありがとうございました。

○米山部会長 こちらこそ。

○野田総務大臣 今後ともよろしく申し上げます。ご苦勞さまです。すみません、お待たせして。ありがとうございました。

(野田総務大臣退室)

○米山部会長 以上で、本日の議題は終了いたしました。

事務局から何かございますでしょうか。

○鈴木総務課長 特にございません。

## 閉 会

○米山部会長　それでは、本日の部会を終了いたします。

委員の皆様方におかれましては、今回の答申に当たって、短い期間にもかかわらず多大なご協力、ご尽力をいただきまして、ありがとうございました。また、本答申の記載事項に関する取り組み状況等を踏まえ、今後、必要に応じて、部会及び郵便局活性化委員会の検討を行うこともあると思いますので、その際はぜひよろしくご協力をお願いいたします。ありがとうございました。